第3回ワークショップ｜教職員セッション

秋田県 かづのし 鹿角市 世界遺産のまち

# 鹿角高等学校魅力化ビジョン策定ワークショップ

「生徒や地域の声を、現場でどう実現するか」―明日の授業と、これからの鹿角高校―

令和８年１０月１９日

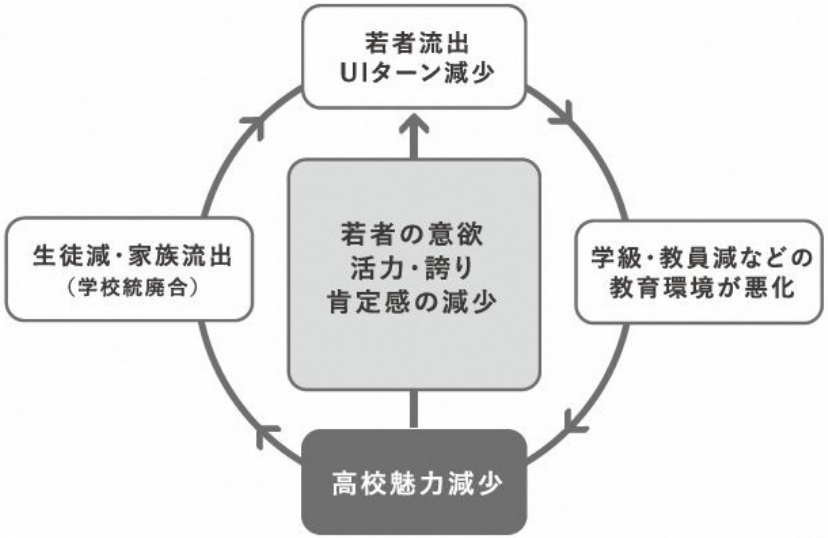
地域・教育魅力化プラットフォーム
Platform for Sustainable Education and Community

# 「意志ある未来」をつくるために～高校を核とした地域創生

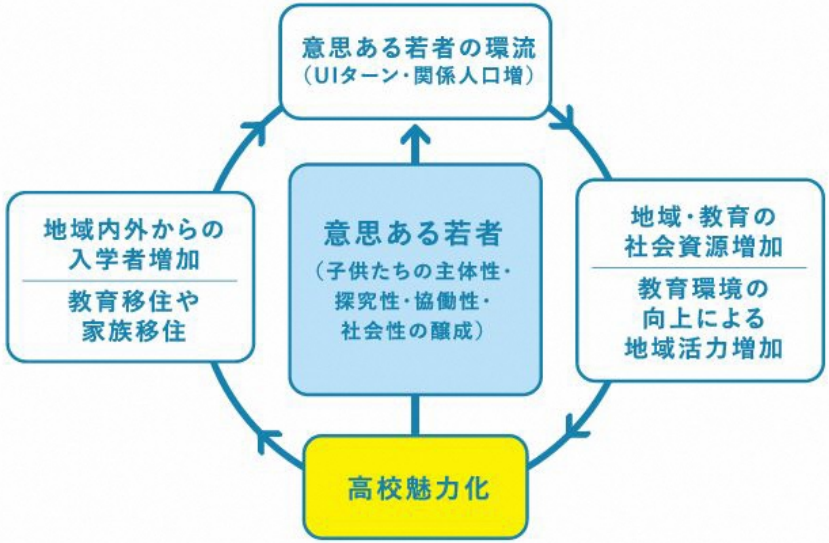


- 人口減少が本格化する中、持続可能な地域創生を実行するためには、
  地方に広がる悪循環を、新たな人づくり・人材の流れづくりを通じて好循環に転換する必要
- 特に地域からの人材出口となっている「高校の魅力化」が重要 に

## 地方に拡がる悪循環




## 高校魅力化を起点とした人づくりの好循環



# 私たちの活動の源流　島根県　隠岐の島 海士町




人口：2300人

島の交通：
本土から約 60㎞をフェリーで約 2～3時間

冬場は季節風が強く吹き荒れ、
船が欠航して孤島化することも珍しくない

空港なし、コンビニなし、信号一基

スローガンは
『ないものはない！』

# 隠岐島前高校の魅力化ポイント



**ポイント①**
**高校と地域（地元自治体、同窓会、地元小中学校、民間団体等）との協働体制の構築**



**ポイント②**
**データを基に生徒や関係者との対話を通した学校・地域が WIN-WINとなるグランドデザインづくり**

# 隠岐島前高校の魅力化ポイント

## ポイント③
## 地域留学による異質性・多様性の受け入れ




**【地元生の進学率向上】**

2007年は45%だった地元進学率が
2015年には **89%** に回復

## ポイント④
## 外部（地域）資源を活かした魅力あるカリキュラム
## 学びの環境の構築

# 全国における事例 ～島根県立隠岐島前高等学校～

地域・教育魅力化プラットフォーム
Platform for Sustainable Education and Community

## 概　要

〇同高校では、2022年度に地域共創科を設置。23年度から2年次に普通科と地域共創科を選択制に。地域共創科は週に１回「地域共創ＤＡＹ」を設定し、１限から６限まで（６コマ分）、島前３町村内での地域活動に充てる。

**隠岐島前高、２０人中１５人が難関大などへ　地域共創科１期生　地域探究、総合型入試で成果**

島前３町村の住民と活動　自己実現力養う

山陰　2025/3/6 04:00

保存



進路指導は面接、小論文を中心に人物評価を重視する総合型入試と学校推薦型入試に特化し、**１期生２０人のうち１５人が両入試で大学を決めた。国立大では筑波大や金沢大、私立大では慶応大や国際基督教大、上智大のほか、米国やカンボジアといった海外の大学へ進学する生徒もいた**　。

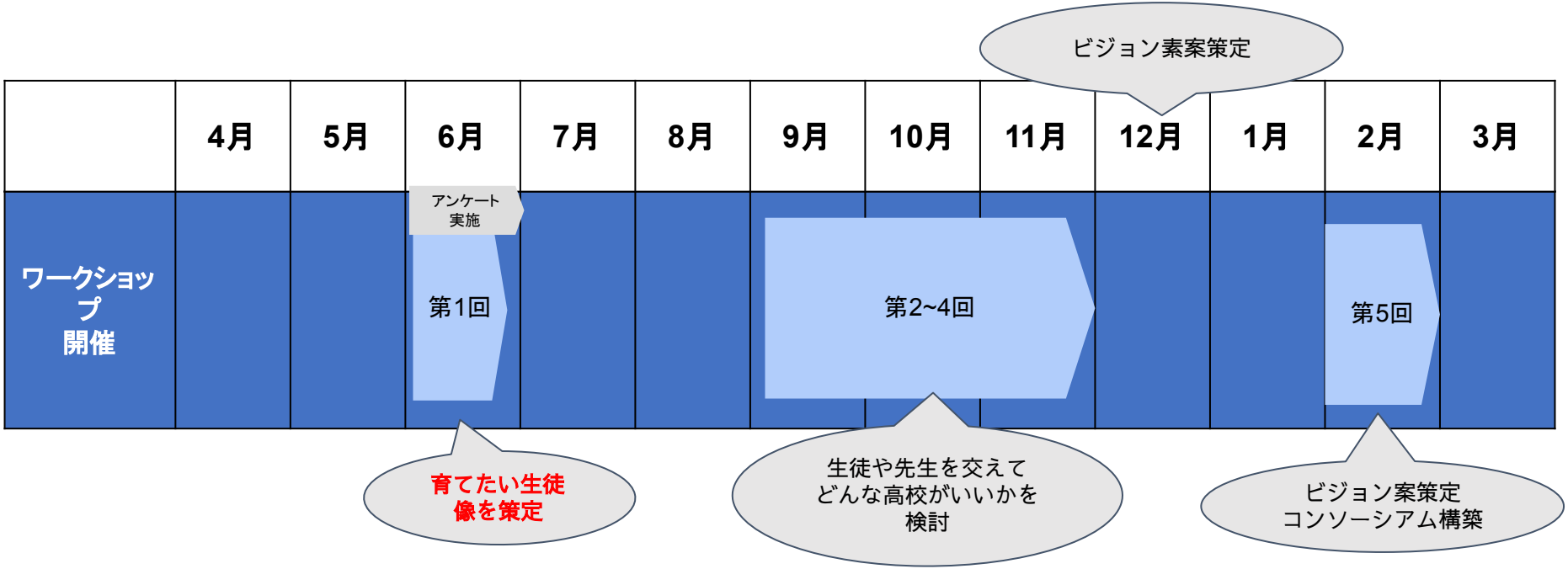
進路指導を担当した三島健士朗教諭（３４）は「地域活動を通じ、さまざまな経験をしたことで面接の強みができた。今回の進路は素晴らしい実績で、大学入学後の将来も楽しみだ」と探究活動が進路への糧になったと強調した。

出典：山陰中央新報「隠岐島前高、20人中15人が難関大などへ　地域共創科1期生　地域探究、総合型入試で成果島前3町村の住民と活動　自己実現力養う（2025/3/6）」

# スケジュール案

## 内　容

現地ワークショップを開催し、育てたい生徒像・今後のビジョン策定の礎とする。



# スケジュール案

検討委員会・生徒・教職員・地域、それぞれの声を積み重ねてビジョンをつくります

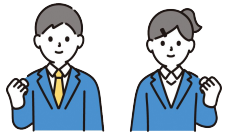
| 回 | 日程 | 対象 | 役割 |
|---|---|---|---|
| 第1回 | 6/24（済） | 検討委員会 | 「3つの力」の骨格を決定 |
| 第2回 | 9/14（済） | 生徒（中高混合） | 生徒目線の悩み・期待を吸い上げる |
| **第3回** | **10/19（本日）** | **教員全員** | **現場で実現できる形に翻訳し、<br>懸念を洗い出す** |
| 第4回 | 11/16 | 地域（多様な主体） | 役割分担・地域側の当事者意識を固める |
| 第5回 | R9年2月頃 | 検討委員会 | ビジョンの最終確定 |

Copyright © 2026 地域・教育魅力化プラットフォーム

# 本日のゴール

鹿角高校を取り巻く現状と、
これまでの取り組みについて理解ができている。

**学校の役割を自分たちの言葉にし、**各自の次の一手を考えることができている。



# 魅力の言語化を通じて、生徒や地域から選ばれる学校へ。



**生徒が行きたい学校**

- 地域の子どもが学校の魅力を理解し、**進学したい**と考えている。
- 魅力が県外の生徒にも分かりやすく伝わっている。

**保護者が行かせたい学校**

- 保護者が学校の魅力を理解し、**進学させたい**と考えている。

**地域が活かしたい学校**

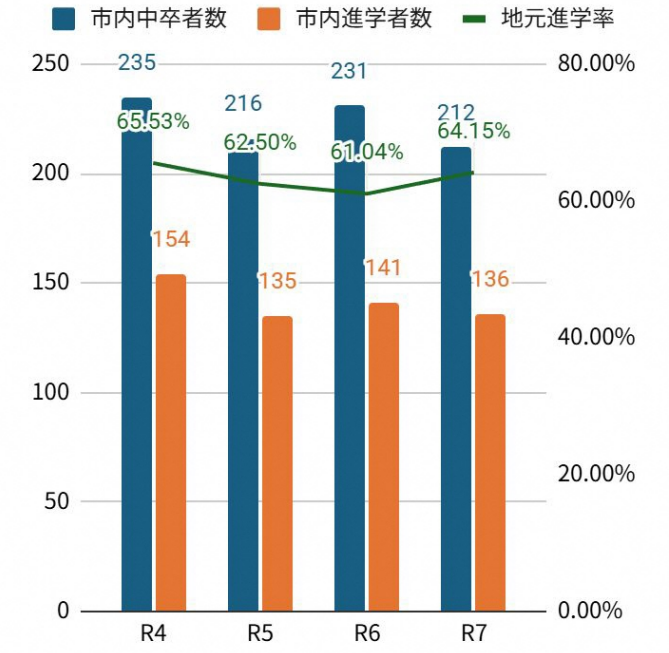
- 学校の所在地域や自治体、地域住民が学校を**活用したい**と考えている。

# 鹿角高校入学者の現状整理①

※R4は花輪・十和田・小坂の３校への進学者

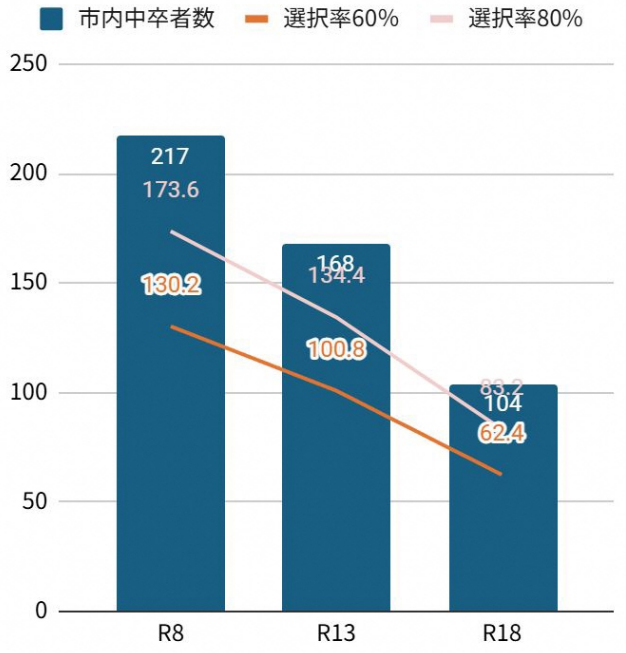
## ■鹿角市からの進学者数

- 過去４年平均**141.5人**／年
- 地元からの選択率は**63.3%**




## ■鹿角市の年少人口の状況

- 中学卒業生は、R18までに**5割**の減少見込み
- 近年の選択率（60%）が続くと、10年後には62人程度となる見込み。



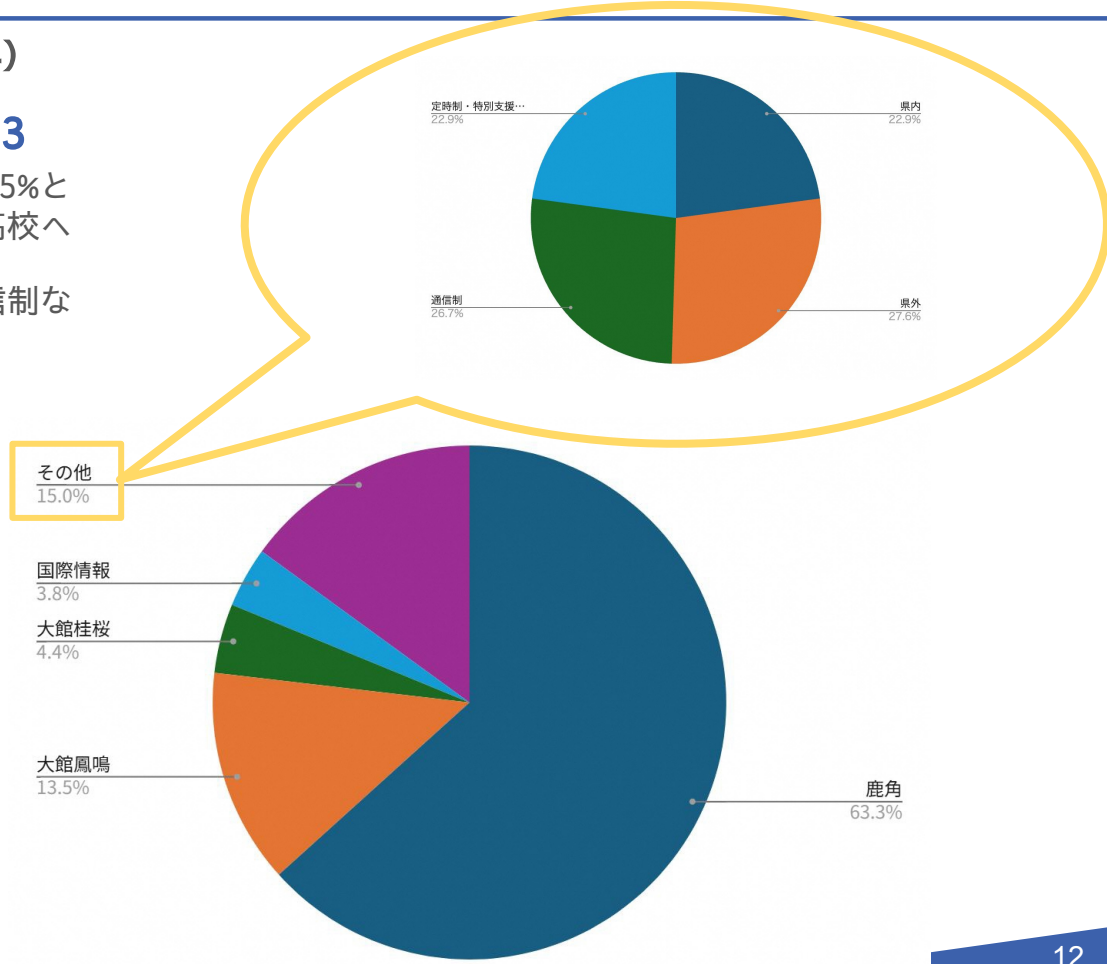
# 鹿角高校入学者の現状整理②

※R4は花輪・十和田・小坂の３校への進学者

## ■鹿角市内中学校からの進路選択状況（過去４年）

- 鹿角市内中学校から鹿角高校の選択率は、**63.3％**。その他（私立など）15.0%。大館鳳鳴13.5%と大館市内の進路が続く（約２割が大館市内の高校へ進学）
- そのほかの進路選択のうち、県内・県外・通信制などそれぞれ４分の１程度が進学している。



## ① 豊かな人間性を土台に、自ら考え挑戦する力

## ② 自分の言葉で人とつながり、協働する力

## ③ 地域を学びの場として、未来を創る力

①「校則を自分たちで決めたい」

②「情報の授業でゲームを、新しい部活が欲しい」

③「温水プールや小さな水族館があれば」

④「有名な人にもっと鹿角高校を知ってほしい」

## 柱1　生徒を当事者にする改革プロセス（参加と意思決定の制度化）

校則・制服・購買等、生徒の日常に関わる事柄について、生徒がアンケートや提案を通じて意思決定に関わる場を制度として位置付ける。

## 柱2　身近な改善から始める、段階を踏んだ改革（スモールスタート）

温水プールや水族館のような大きな要望も、まず資金調達の仕組みとセットで、実現可能な規模・手順から着手する。

## 柱3　学びと日常を魅力化する改革（授業・部活動・施設の刷新）

既存の授業・部活動の枠組みを生かしながら、生徒の関心（ゲーム・情報・国際交流等）を学びの中に組み込む。

## 柱4　地域・外部との連携による資源確保と発信

学校単独で完結させず、地域企業・ALT・観光客・留学生等、外部との連携によって資源と魅力を確保する。

出典：鹿角市教育委員会「進路に関する中学生・保護者アンケート結果報告書（概要版）」

## ■中学生アンケート

回答481人／回答率83.4%（市内4中学校・令和8年5～6月）

- 進学先の第一志望は鹿角市 **53.5%** ／大館市20.6%／未定17.7%
- 高校選びで重視：学校の雰囲気 **46.7%** 、就職に役立つ39.5%、学びたいことが学べる38.1%
- 魅力ある高校は「学校生活が楽しそう」 **57.5%** が突出
- 高校生活で大切にしたいのは「勉強」 **76.0%** 、友人との学校生活58.5%
- 「まだ決めていない」も **約3割** ：学校の種類30.3%、学科28.4%（地域は17.7%）

## ■保護者アンケート

回答217世帯／回答率41.0%（令和8年5～6月）

- 進学先の想定は鹿角市 **52.4%** ／大館市26.9%／まだわからない12.7%
- 高校選びで重視：学校の雰囲気 **58.2%** 、進学に向けた学習・指導51.2%、学びたいことを学べる39.0%
- 鹿角高校の印象：部活動・通学面は肯定的／進学支援・学校外活動は「わからない」が約 **4割**
- 自由記述は通学・交通、学校の特色・学び・情報が最多（各11件）

**共通する課題：学校の雰囲気・生活の魅力と、学びの特色・進路とのつながりを、中学生・保護者に「見える形」で伝えること**

出典：鹿角高校魅力化ビジョン　本文案（市民アンケート結果より）

地域・教育魅力化プラットフォーム
Platform for Sustainable Education and Community

## ■市民アンケート①　イメージ

令和8年度実施の市民アンケートより

- 「活動の様子が届いておらず、よくわからない」**44.5%**（最多）
- 「進学・就職や部活動で実績を出している」**44.1%**
- 実績は知られている一方で、日頃の活動や特色が伝わっていない

## ■市民アンケート②　距離感と期待

高校生や学校との関わり・卒業生への期待

- 学校との関わりを「感じない」計 **58.9%**（「感じる」計30.7%）
- 十和田地区では「ほとんど感じない」**46.3%**
- 期待する将来像：「いったん離れても、いつか戻り経験を活かす」**33.9%**、「国内外で活躍」30.7%
- 身に付けてほしい力：課題を見つけ挑戦し続ける力**38.7%**、多様な人と協力する力31.7%

**3つのアンケートに共通する課題：実績や雰囲気は評価されているが、日常の様子や学びの中身が伝わっていないこと**

# （参考）高校魅力化評価システムの結果　ー強み

| 順 | 番号 | 質問内容 | 分類 | 自校値 | 全国差 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 90 | この学校を中学生におすすめできる | その他 | 86.9% | +6.1pt |
| 2 | 66 | この学校に入ってよかったと思う | 協働性×WB | 92.1% | +4.3pt |
| 3 | 64 | 将来、見知らぬ土地でチャレンジしてみたい | 社会性×自己認識 | 77.3% | +3.6pt |
| 4 | 43 | 自分とは異なる意見や価値を尊重することができる | 協働性×自己認識 | 95.9% | +2.8pt |
| 5 | 42 | 相手の意見を丁寧に聞くことができる | 協働性×自己認識 | 92.1% | +2.6pt |
| 6 | 84 | 学校の一員だと感じている | 協働性×WB | 91.0% | +2.6pt |
| 7 | 35 | 周りの大人は、自分に関わることについて自分で決めることを尊重してくれる | 主体性×環境 | 92.9% | +1.6pt |
| 8 | 19 | 地域から大切にされている雰囲気を感じる | 社会性×環境 | 89.1% | +1.4pt |
| 9 | 7 | グループで協力しながら学習や調べものを行う | 協働性×活動 | 85.2% | +1.1pt |
| 10 | 21 | 挑戦する人に対して、応援する雰囲気がある | 主体性×環境 | 94.4% | +1.1pt |
| 11 | 11 | 話し合った内容をまとめる | 探究性×活動 | 77.7% | +0.8pt |
| 12 | 58 | 将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある | 社会性×自己認識 | 70.4% | +0.8pt |
| 13 | 33 | 目標や当事者意識を持って挑戦している人がいる | 主体性×環境 | 86.9% | +0.5pt |
| 14 | 17 | 本音を気兼ねなく発言できる雰囲気がある | 探究性×環境 | 84.1% | +0.2pt |
| 15 | 27 | 自分と異なる立場や役割を持つ人との関わりがある | 協働性×環境 | 87.1% | +0.1pt |

# （参考）高校魅力化評価システムの結果　ー伸び代

| 順 | 番号 | 質問内容 | 分類 | 自校値 | 全国差 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9 | 活動、学習内容について大人（教員や地域の大人）と話し合う | 協働性×活動 | 36.3% | −20.3pt |
| 2 | 6 | 学校外のいろいろな人に話を聞きに行く | 主体性×活動 | 19.3% | −18.1pt |
| 3 | 79 | まだ世の中にない新しい技術やサービスを生み出してみたい | その他 | 31.3% | −15.6pt |
| 4 | 69 | いま住んでいる地域の行事に参加した | 社会性×行動 | 23.0% | −15.3pt |
| 5 | 80 | 客観的な証拠に基づき考え、判断する科学的視点から課題解決にあたることができる | その他 | 30.0% | −15.3pt |
| 6 | 52 | 私は、自分自身に満足している | 主体性×自己認識 | 42.7% | −14.8pt |
| 7 | 63 | 将来、自分のいま住んでいる地域で働きたいと思う | 社会性×自己認識 | 33.7% | −14.3pt |
| 8 | 88 | この地域を、将来暮らす場所としておすすめできる | 社会性×WB | 55.8% | −14.3pt |
| 9 | 76 | 公式やきまりを習う時、その根拠を理解するように、自分で考えたり調べたりした | 探究性×行動 | 49.1% | −14.2pt |
| 10 | 41 | 複雑な問題を順序立てて考えることが得意だ | 探究性×自己認識 | 33.5% | −13.9pt |
| 11 | 50 | 友達の前で自分の意見を発表することは得意だ | 協働性×自己認識 | 47.2% | −13.6pt |
| 12 | 65 | 将来の国や地域の担い手として、積極的に政策決定に関わりたい | 社会性×自己認識 | 27.9% | −13.6pt |
| 13 | 57 | 私が関わることで、変えてほしい社会状況が少し変えられるかもしれない | 社会性×自己認識 | 33.7% | −13.6pt |
| 14 | 61 | 地域社会の魅力や課題について、自主的にテーマを設定し、フィールドワーク等を行いなが… | 探究性×自己認識 | 44.4% | −13.3pt |
| 15 | 75 | 授業の内容について、「なぜそうなるのか」と疑問を持って、自分で考えたり調べたりした | 探究性×行動 | 54.7% | −12.8pt |
| 16 | 74 | 授業で興味・関心を持った内容について、自主的に調べ物を行った | 主体性×行動 | 49.8% | −12.7pt |
| 17 | 46 | 勉強したものを実際に応用してみる | 探究性×自己認識 | 56.7% | −11.9pt |
| 18 | 53 | 自分で計画を立てて活動することができる | 主体性×自己認識 | 53.2% | −10.7pt |
| 19 | 29 | 地域の人や課題などにじかに触れる機会がある | 社会性×環境 | 59.2% | −9.5pt |
| 20 | 72 | 自分の考えについて、様々な人に意見やアドバイスを求めた | 協働性×行動 | 63.1% | −9.3pt |

# 今後の実施（検討）スケジュール

・高校のあり方を本質的に、地域とともに検討する必要があり、丁寧な討議を重視。
・概ね３年間で「目指す姿」への道筋をつけるスケジュール。
　⇒全国生徒募集と並行しながら、令和１０年度入学生（令和９年度中の生徒募集）から
　　ビジョンを本格実装・反映していく

## 方針検討・施行（令和８年度）

**魅力化ビジョンの策定と体制構築**

- 現状分析と関係者へのアンケート調査
- エビデンスに基づき、目指すべきビジョンを策定。
- 地域みらい留学への参画
- コンソーシアムの構築による体制構築

## 受入開始と実装準備（令和９年度）

**ビジョン・戦略に基づき、早期開始可能な取組着手（鹿角型コンソーシアム始動）**

- 新学科・カリキュラム検討加速
- 市内中学校へのアプローチ・連携方法の改善
- 県外生の受け入れ開始・活性化
- 地域全体で教育を支える持続可能な体制の構築
- 小坂町を含めたコンソーシアムの構築
- コーディネーターの検討

## 実装（令和１０年度）

**ビジョン・戦略に基づく地域での取組の実装 新たなコースの始動（仮）**

- コース新カリキュラムの一部施行
- 市内選択率の向上（70%へ）
- コーディネーター体制の構築に向けた検討

